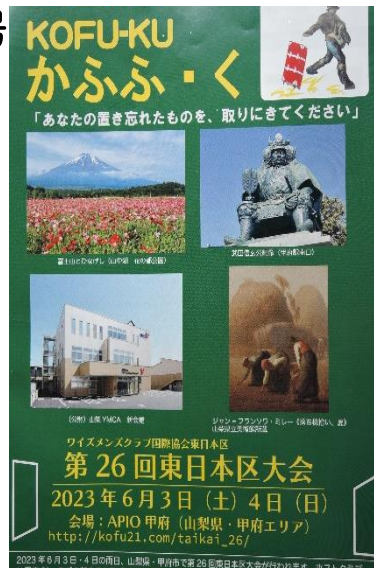




とつか
 2023年5月会報 第343号

国際会長(IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)
 2022 主 題 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」
 スローガン ‘Good Communication is the Cornerstone in Every Cooperation’
 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
 アジア太平洋地域会長(AP) Chen Ming Chen (Taiwan)
 ~ 主 題 “Elegantly Change Let with New Era” 「新しい時代とともに変化を」
 スローガン “Doing It Right Now” 「今すぐ実行を」
 東日本区理事(RD) 佐藤重良 (甲府 21)
 2023 主 題 “Let's act now for the future” 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
 スローガン “Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself”
 湘南・沖縄部部長(DG) 小松伸史 (厚木)
 主 題 主 題 「楽しく・元気よく・前向きに」・副 題: 「入りたくなるワイズにしよう」
 クラブ会長 吉原 訓 主 題 「原点回帰」: 副会長 若木一美・書記 加藤利榮・会計 岡 進・メネット 吉原和子



会員ひとこと



☆ 「さくら」から新緑へ☆ 鈴木ひろ子

‘さまざまのこと思ひ出す桜かな’ 松尾芭蕉
 季節もすっかり春から新緑の季節となり、ついこの間まで、近所の公園や川べりに咲き誇っていた桜も葉を付け始めております。芭蕉の句のように、皆さまもお散歩の折やバスなどの乗物の中からこうした情景を目の当たりに~4月の初めころには、一夜、‘春の嵐’もあつたりで~、季節の移り変わりをそれぞれに『思い思いの想い出』を味わわれたことと思います。
 ご存じかもしれませんが、‘さくら’の花言葉は、「優れた美人」「精神美」「純潔」「淡泊」と、‘しだれ桜’は「優美」、‘ヤマ桜’は「あなたにほお笑む」なのだそう。それと、序に‘にほん三大桜’とは、「山高神代桜(やまたかじんだいさくら・山梨県樹齢2千年以上)」、「根尾谷淡墨桜(ねおだにうすずみさくら・岐阜県樹齢1,500年以上)」、「三春滝桜(みはるたきざくら・福島県樹齢千年以上)」なんだそうです。
 そして、今や新緑の季節に…。1年で一番過ごし易い時期になりました…。「八十八夜の別れ霜」も過ぎ、新鮮で風味のある新茶の季節 また「女房を質に置いても」買い求めた初鯉の味は…、苺・ソラマメ・キャベツ…とこの時期に相応しい食材に事欠きません。恒例の‘竹の子例会’もお天気に恵まれ、また吉原会長・和子メネット様のいつもながらのご配慮で無事、盛況理に終わりました。有り難うございました。

◎今月の聖句◎

わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。
 —マタイによる福音書7章21節—
 名ばかりのクリスチャンや口先ばかりの信仰者は天国に入ることとは許されないという厳しい警告です。五旬節(ペンテコステ)を迎え、愛を柱とする律法を受けられた記念すべき時に日ごろの私たちはいっそう謙虚に静かに反省したいですね。

強調月間
 LT・ユース

LTは、Leadership Training 会員のリーダーシップの開発、向上を目的に行う研修・事業の名称。区・部に限らずクラブ内にあっても、積極的に推進すべき事業であろう。
 ユースは、Convocation、Volunteer Leaders Forum の事業がある。特に後者は各部からの拠出金で賄われる。

~4月の会合~	会員数：11名
例会出席：メン	8名・出席率：90%
ゲスト：	10名
ビジター：	0名
メネット：	2名

“To acknowledge the duty that accompanies every right”
 ★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

例会報告

☆ 4月の‘竹の子例会’から ☆

加藤利榮

日時：2023年4月8日（土）12:50～16:00

会場：吉原会長邸の庭園

出席者：湘南とつかYMCA 乳児保育園担当リーダー倉科綾夏さん

ほか9名のリーダーの皆さん

メン：浦出・加藤・薩摩・柴原・鈴木・瀬戸・土方・吉原

メネット：加藤・吉原 一以上20名・敬称略一

夜来の‘春の嵐’を思わせる風雨も、一夜明ければ透き通るような青空のもと、かねて吾人が待ち望んでいた集まりが、恙なく催されました。

車で・バスで・徒歩で…と思いつきに予定の時刻までに集まれるお馴染みの顔ぶれとリーダーの皆さん、ようこそ…と会長からご挨拶を頂き、まずは心尽くしの‘腹ごしらえ’、アルジは…とみれば、掘り組用の履物を揃えたり道具を車に乗せたりで、出発前のひと仕事…とばかりに、おさおさ怠りなし…といったところ…、「さあ よろしければ出掛けましょう…」の一声に‘掘り組’は一斉にイスから立ち上がりました…。リーダーの10名は専用のワゴン車に、そしてあとはアルジ運転のお馴染みとなった小型トラックに…と分乗、カンコの声に送られ出発…、あとは、‘灯の消えた’ような静けさ(?)が戻ってきました…。雑談して待つこと1時間余り、ふと門の外が賑やかに…。 ➤

荷台から次から次と下ろされるシナモノ…、相変わらずの戦果だったことが推察されます…。

さしも、広い庭も歓声のるつぽに…。

しばし、茶菓を頂き歓談ののち、ビニール袋に納まったオタカラは、それぞれのアルジに抱えられ、お互い、感謝の言葉を交わし、全体写真(下欄)に収まったのち、三々五々、家路につきました。

吉原会長様、メネット様、有り難うございました。



☆ 久しぶりに厚木クラブの例会に ☆

浦出 昭吉

日時：2023年4月26日（水）18:30～20:30

会場：厚木YMCA

出席者：ビジター 吉原 訓・和子ご夫妻・加藤・鈴木・土方・浦出 加藤ワイズが厚木クラブで卓話されると聞き、何を置いても…と、吉原会長の車に便乗させていただき、参加しました。

途中、相模川の戸沢橋付近の渋滞に遭いながらも18時30分の例会開始時刻には厚木YMCAの3階会場に到着、あつぎの皆さんらとご挨拶を交わすことができました。当夜は、われわれのほか、ゲストは入会候補の女性1名とビジターとして伊藤幾夫さん(東京多摩みなみ)と佐藤茂美さん(東京)、それに、つづきの鈴木茂さんがZOOM参加と、賑やかなひと時になりました。

会は、徳澤洋子書記の司会、佐藤会長の開会点鐘で始まりました。ワイズソング・信条・聖句・祈り・会長挨拶とセレモニーは続き、いよいよ加藤ワイズの卓話が、配られたレジメを基に40分にわたり、途中冗談も交えながら始まりました。

「Y・Y'sあれこれ」のテーマ、主に、今まで歩いてこられた道のりを基に、28歳でワイズ入りし、BF代表としてカナダ・アメリカを周ったこと、区理事の時は、区がまだ東西に分かれる前の状況を手に取るように話され、当時の日本区のありさまが彷彿と目の前に広がる思いで、聞き入りました。また、日本区大会を、ワイズ史上初めての試みとして、東京は、九段会館を会場に一日で開催し、いわゆる‘日帰り’大会を東京グリーンクラブのホストで行ったことや、全国の部会を、周りのスタッフらに助けられながら何とか回ったこと、例えば、北見での北海道部会の翌日が名古屋での中部部会だったり、時間のやり繰りに苦労した等々…。 ➤

1990年代は、区理事は、東西交互に輩出する形ができていて、加藤理事の前年は博多オーシャンの中村次郎さん、そして次は、京都の森田恵三さんと受け継がれた、また、当然のことながら、人同志のつながりは殊の外大事で、横浜から出た萩原義明さん(当時・大阪高槻)や浜田勉さん(当時・奈良)が「関西は任しとき…」とってくれたのが、何よりの励みになった、そして、理事スタッフに恵まれたのは、一番のツヨミだった。…と、時に、カケコトバを交えながらの、肩の凝らないひと時でした。

帰途は、吉原会長ご存じのソバ屋に立ち寄り、楽しいひと時はかくして終わりを告げました…。

キョウイク・キョウヨウ、そしてチョコキンという単語も覚えました…。有り難うございました。



特別寄稿

☆十勝から春の報告☆



十勝ワイズメンズクラブ 山田 敏明
横浜とつかクラブの皆さん、こんにちは。
やっと根雪が融け、十勝地方が春耕期を迎え、
大地にトラクターのエンジン音が響く季節
となりました。もうすぐ、アスパラガスが
萌芽し、日本有数の農業地帯のこの十勝も
農業生産が始まります。農業の中でも酪農業では、
コロナの影響で、乳製品の消費が減退し、減産が強いられ、
また飼料代の高騰などのコスト増で経営は火の車状態になっています。
自分としては、今後、経営の効率化を進め、作物の転換などに
取り組み、「十勝農業ここにあり」の根性で邁進していきたい
と思います。

十勝ワイズメンズクラブは、創立47年を迎え、会員は18名です。
日頃より、ジャガイモファンド事業で、皆さんにはお世話になり、
過去には農村花嫁問題から始まり、YMCA 支援や、
障害者施設へのもち米配りや物品提供など十勝クラブは
多大な地域奉仕を継続してきました。常に、時代と地域の
ニーズに合わせて、今後も有益な事業にしていきます。

2月に台湾・台北で開催された「国際協会設立100周年
記念祝賀会」に参加してきました。久々の国際関係の出席で、
2019年の第28回アジア太平洋地域大会のお礼も兼ね、
台湾のIBCの方々との交流をさせていただきました。心温まる接待
を受け、やはりワイズのこのような国際交流の醍醐味を再認識
した機会となりました。今年11月には、利根川恵子アジア太平
洋地域会長の大会が香港でありますし、来年はフィリピンで
国際大会が開催されます。

さて、当クラブでは、山田公平次期理事の第27回東日本区
大会の開催に向け始動し始めました。2024年6月、新緑に囲ま
れた「とちかプラザ」と、「ホテル日航ノースランド帯広」を
会場に、久々に北海道での開催となります。ぜひ皆さんに、
コロナで疲れた心身を癒し、おなか一杯・胸一杯の大会になる
よう企画しますので、皆様 多数のご来勝をお待ちしております。
お会いできるのを、今から楽しみにしております。

(山田敏明さま、コロナ禍で大変だと思いますが、十勝農業のため
頑張ってください。陰ながら応援しています。

台湾の台北にオースチン・リンさんがおられたことを思い出
しました。1,999年の十勝でのアジア大会に見えていましたね…。

何度か彼の家にホームステイしたことも…。 T/k)

新緑随想



☆ 沖縄クラブ近況報告 ☆

沖縄クラブ 書記 伊藤 康一
皆さま 大変ご無沙汰しております。
西日本区にて新たにスタートを切りまし
た「沖縄ワイズメンズクラブ」から近況
のご報告をさせていただきます。

東日本区で見做し解散をさせていただ
き、その後、西日本区での設立に向けての
手続きを進めてまいりました。その中では、
西日本区の理事をはじめとするキャビネット
の皆さま、また、京都部の皆さまから大変
な関心とお手伝いをいただきました。
合わせまして、東日本区での旧親クラブの
金沢八景ワイズメンズクラブ、西日本区
の現親クラブである京都トウビーワイズ
メンズクラブからのご支援をいただき、
今年1月28日にチャーターナイトを無事
に迎えることができました。特に、金沢八景
ワイズメンズクラブ 峯尾ワイズをはじめ
とする会員の皆様には深く御礼を申し上げ
ます。

また、新生沖縄ワイズメンズクラブを親
クラブとする子クラブ「沖縄新風(みーかじ)
ワイズメンズクラブ」の設立総会を3月28
日に開催させていただきました。5月下旬には
チャーターナイトを迎える予定での次のス
テップに入る準備をさせていただいており
ます。更に、2023-2024年度には新たな
クラブを設立させる予定で活動を進めてお
ります。最終的には、沖縄県内に三つのク
ラブを有してワイズダムを推進してまいり
ます。

また、今後の沖縄ワイズメンズクラブの
活動状況は、随時クラブのホームページで
発信させていただきます。再出発の当ク
ラブのチャーターナイトまでは、意識的に
更新をしております。今後は随時更新をし
てまいります。

さらに、沖縄における活動を再開するに
当たり、当クラブでは早期に次世代の人材
を確保して、沖縄での働きが途切れるこ
となきようと考えております。

(伊藤)

(貴重な原稿、有難う…。

沖縄 YMCA 支援も

よろしくね… T/k)



《アンジュ通信》

☆ お花見散歩に ☆



ワークサポートセンターアンジュでは、3月
27日に舞岡公園にお花見散歩を行いました。
今年は、桜の花持ちがよかったので、満開
の桜を楽しむことができました。

あたたかな陽気の中、山道を歩いていると、
小鳥たちのリズムカルな歌声が、気持ちを
ウキウキさせてくれました。



横浜 YMCA ワークサポートセンターアンジュ 相馬 良文

4月から、利用者にお支払いする工賃の引
き上げを行いました。

利用者の待遇改善にも取り組む1年とな
ります。引き続きのご協力をお願いします。





担当主事 瀬戸俊孝
 横浜YMCAのヘルシーキッズ&ファミリーキャンペーンとは、子どもたちの健やかな心と身体を育む成長の支援、また家族で健康について考える機会として実施するキャンペーンになります。近年、子どもたちの運動不足や体力低下などが社会における課題となっています。運動だけでなく、栄養、休養と様々なテーマで神奈川県下の運動プログラムを実施しているYMCAにおいては、様々な取り組みを実施していきます。

4月29日は、キャンペーンスタートイベントとして、1日体験イベントを行いました。親子プログラムを中心に約80名の方が参加されました。そして、「子どもたちの力を引き出す大人の役割」というテーマで、元バレーボール日本代表の益子直美さん、斎藤真由美さんをお迎えして講演会を行いました。会場、オンライン合わせて250名が参加して貴重なお話を聴くことが出来ました。

これらの取り組みは、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」にもつながります。地域の方にとり魅力あるYMCAを目指したいと思います。



【今月の歳時記】 “夏近し なつちかし・浅草祭 あさくさまつり”

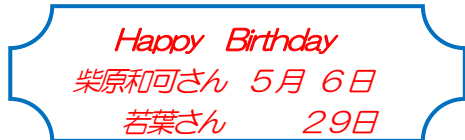
夏近し：春たけて、ようやく夏に入ろうとする頃のことで、行春にいて夏を身近に感ずる心を表す。夜明けもしたいに早くなり、新緑のいふきも濃密に感じられる。

夏近し葱に水をやりしより	虚子
盤石をぬく燈台や夏近し	石鼎
旅人の墓に飯供き夏近し	源義

浅草祭：三社祭ともいって、五月一七・八日（古くは陰曆三月）、東京浅草の浅草神社で行われる祭礼である。この日は神前に舞台を設けて、古式による田楽舞の神事があり、みこしが町中を練り回り、柏坂踊などでにぎわう。昔は、祭りの当日、雷門の付近に蓑（みの）市が立った。

結綿に花節に三社祭かな	喜舟
浅草の祭りもなかや心太	軒雨
蓑市にいつちの花のある燈かな	細流
どの家も子供は二人祭笛	悦男

- ◎ 第1例会：5月13日（土）・湘南とつかYMCA
 近くなりましたら担当主事から連絡させていただきます。
- ◎ 第2例会：5月23日（火）
 コースリーダー交流会・湘南とつかYMCA
- ◎ 5月28日（日）とつかYの野外イベント



トピックス

加藤 利栄

福島 正さん
 もと東京目黒クラブ会員、奈良傳賞受賞の福島正さんが4月11日、病で98歳の生涯を閉じられました。ここのところ、福島さんからのプリテン評がメールに入らないサ…と思っていた矢先のことで、心の支えを失った気持ちでいっぱいです…。かつて、ご夫妻共々、沖縄・先島諸島を巡ったことや、わが家での納涼会に何度かメネット様とお見えになられたことが、たいへん懐かしく思い出されます…。
 祈 平安

（その一）‘タケノコ例会’で思わぬ収穫が…
 リーダーが10人も参加されたとはちょっとした驚き、彼らはいずれも湘南とつかYMCA所属の皆さんです。
 とつか乳児保育園 YMCA 語学部
 倉科 綾夏・荻野 夏実 吉田 繭子・北川 知沙
 YMCA 専門学校 浅沼 和音・山田 和優
 須藤 百海・山内 颯
 占部 隼・品川 亜弥 - 10名・敬称略 -
 「お誘いパンフ」と4月号プリテンを配り、交々観談のひと時を…。

（その二）マスクさん その節は大変お世話に…
 至って評判のよくなかったコロナも、ようやくその緊急性も少なくなってきたようで、ご同慶の至り…。
 いったとき、インフルエンザの流行期と重なったこともあり、吾人、皆さん、マスクのお世話になりました。
 一時オンラインやZOOMなどの単語が大手を振って…。

- （その三）「さわやかに老いるチエ」（老人訓より）
- ① 老人で一番寂しいことは、する仕事のないこと。
 - ② 老人で一番悲しいことは、敬して遠ざけられること。
 - ③ 老人で一番醜いことは、過去にしがみ付いて生きること。
 - ④ 老人で一番美しいことは、若い者のために陰の力となってあげること。
 - ⑤ 老人で一番尊いことは、死を忘れないこと

〈後記〉 ♪夏も近づく八十八夜〜♪ (B/e)